

中津川市の城



「中津川市の城を調べる」

中津川市で城といえば、国指定史跡である「苗木城跡」が最も有名です。

その他に、「阿照城」「督ノ城」「千旦林城」「阿木城」などがあります。

しかし、ほとんどの城が、実際の場所に面影を残す程度で、文献資料から手掛かりを得るのは、なかなか困難になっています。文献資料が比較的保存されているのは、今のところ「苗木城」です。

1. 苗木城

- 『史跡苗木城跡』（中津川市教育委員会）[1984年]
国指定史跡となったのを機会によりよく保存し、親しみながら活用するための保存管理計画策定書。
- 『週刊 日本の城 No.4 苗木城』（デアゴスティーニ・ジャパン）[2013年]
「名城探訪」として苗木城の復元CGなどが掲載されています。
- 『苗木城史 全』（中根隆二 著）[1998年]
南北朝時代から関ヶ原戦に至る、四百年間の苗木城の時代を、著者による資料調査、言い伝わる伝承と「勘」を頼りに推理した記録が書かれています。
- 『苗木城』（岸上耿久 著）[1987年]
城の歴史と共に、城主と領内の人々の辿った運命を知ることができます。
- 『苗木城～城山と歴史～』（苗木遠山資料館）[2011年]
城の見取図や模型があり写真も豊富で遠山家の動きも年表とともに載っています。
- 『遠山友政公記』（千早保之 著）[2010年]
苗木藩の初代大名「遠山友政」とともに苗木城について書かれています。

2. その他市内の城

- 『東美濃の城跡探訪～身近な歴史の舞台「東美濃の城館跡・古戦場」を巡る～』（樋田勝 著）[2010年] 調査資料が少ない中、場所の写真があり貴重な資料の一つ。
※『中津川市史 上巻』（中津川市）[1968年]にも苗木城をはじめ、関連する内容が詳しく書かれています。

中津川市立図書館 平成26年3月作成

「岐阜県の城を調べる」

岐阜県図書館もご活用ください

中世の美濃は土岐氏・斎藤氏が繁栄し、戦国～安土桃山時代には織田信長をはじめとする武将達が激しく争いました。また飛騨では三木氏や江馬氏などが覇を競いました。各地に残る城がそのなごりを今に伝えています。

1. 県内の城・城跡

- 『岐阜県中世城館跡総合調査報告書』第1～4集（岐阜県教育委員会）
1：西濃・本巣 2：岐阜・美濃 3：可茂・東濃 4：飛騨
県内の城館跡の位置を地形図上で示し、遺構の概要を掲載しています。
- 『日本城郭大系 9 静岡・愛知・岐阜』（新人物往来社）
各県の城について、市・郡ごとに掲載しています。
- 『日本城郭全集 7 愛知・岐阜』（人物往来社）
愛知県・岐阜県の城について、それぞれ50音順で掲載しています。
- 『よみがえる日本の城 16』（学研）
大垣城、岐阜城、岩村城、苗木城などの絵図や復元イラストを収録しています。
※各自治体の市町村史にも、城や城主について詳しく書かれています。

2. それぞれの城・城跡

- 横山住雄『岐阜城』（美濃文化財研究会） 岐阜城の史跡や周辺の歴史、特に歴代城主の事蹟について詳しく書かれています。
- 『大垣城の歴史』（清水進、大垣市文化財保護協会） 城主の経歴と城に関わるエピソードをコラムとしてまとめています。巻末に城主一覧表もあります。
- 『史蹟 金山城趾めぐり』（兼山町史蹟保存会） 森氏の居城だった金山城を紹介した小冊子です。
- 『帰雲城と内ヶ嶋氏に関する資料 総集編』（白川郷埋没帰雲城調査会） 帰雲城と城主の内ヶ嶋氏について、様々な文献から関係資料を集めたものです。
※このほか県内各地の城・城跡についての資料があります。

岐阜県図書館 平成22年3月改訂版より抜粋